

赤れんが

第135号 ブラウンハイム自治会 2017年 3月1日発行

発行責任者 福永哲夫

2013年に産声をあげた『ブラウンクラブ』。その活動はもうじき5年目に入ります。月一回ペースで開く《楽しい語らいの場》のお茶会を軸に、昨年7月5日は横浜スタジアムで「横浜DeNA×ヤクルト」の観戦、今年2月10日には、国会議事堂～築地場外市場～迎賓館を巡る日帰りバス旅行、とブラウンハイムから外へ繰り出す企画も実施。早々に応募が定員に達するご好評をいただきました。

ウクレレの会



12月11日 於:集会所

を迎えて ブラウンクラブ忘年会

自治会副会長 (兼)ブラウンクラブ副会長 山田京子

なんて温かな雰囲気なんだろう。男性陣、女性陣、男女混合。それぞれのテーブルに合わせて、盛り沢山の料理や飲み物が並んでいる。お寿司におでん、オードブルに焼き鳥イカリングにポテトフライ。ビールに銘酒に・・・ 最後にはお汁粉だって登場する。

「あれ取って。こっちのもお願い。」お皿いっぱいニッコニコの人もいれば、「こんなに食べきれないよ～」食べる前からワナワナしている人もいる。

永久保会長の挨拶はGOサインだ。「今年一年、お疲れ様でした！」

あの人もこの人も、あー忘年会でしか合わない人もいる。みんな笑顔で話している。

ブラウンクラブは「来る者は拒まず」の開かれた会だ。



みんなが楽しそうにお喋りしている中に、ちょっと緊張気味の人たちがいた。

“ウクレレの会”の面々だ。ブラウンクラブの忘年会での演奏は今年で2年目だから、様子は分かっている。ただ今年は30分。昨年の倍の演奏時間なのだ。



ウクレレの会のメンバーは、月2回のレッスン日をととても楽しみにしている。

「無理をしないで。コードがひとつしか弾けないなら、まずそこから参加しよう。

歌も自由に楽しくやればいいんだ。弾きながら歌う楽しみを感じて！」

柴田会長のそんな言葉に励まされながら、最初は3曲だった練習曲も、今では40曲を数えるほどになった。今回はその中から10曲…

「さあ、ウクレレの会のみなさんです！」

青い山脈・四季の歌・上を向いて歩こう・ドレミの歌。懐かしの歌謡曲が続くと前のスクリーンに大石さんが歌詞を映し出してくれる。次はハワイアン。

小さな橋の下・バリバリの浜辺。そして仰げば尊しのあとは今回の目玉の武田節だ。

詩吟教室にも所属する東川さんが一人で吟じるところでは、会場中が聞き惚れ、割れんばかりの拍手と喝采で大盛り上がりだった。そのあとにお馴染みの

リンゴの唄をみんなで歌い終わると「アンコール！！」

もちろん「武田節」。先ほど以上に気合の入った東川さんの詩吟に会場全体の興奮もピークに達したところで、最後は蛍の光の大合唱。

パパンパンパン！各々が手にしたクラッカーの紐を天井に向けて引くと、メタルカラーのキラキラと光るテープが飛び出した。きらめくテープと爆音にみんなが「わあーっ！！」と歓声をあげ、忘年会は幕となった。



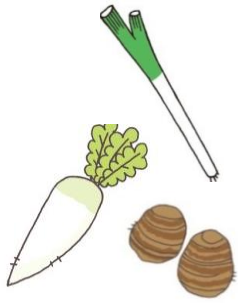
♪♪♪ ブラウクラブの各サークルでは随時お仲間を募集しています ♪♪♪



活動日は掲示板でご案内しますので
興味のある方は覗いてみてください
また お茶会はどなた様も大歓迎
継続して参加ができなくても 気後れ
することはありません
開催の都度、参加者を募ります
回覧する用紙でお申込みを

バス旅行

← 迎賓館にて カシャ!



にぎわいました

冬季交流会

1月8日



前々日の自治会委員最終打ち合わせ。雨の予報が出ており、「大丈夫かなあ?」「準備万端、整えたのだから、絶対そとでやりたいね!」… 2日後、願いが天に通じたのか、気温は低いながらも予定通り、屋外での開催が叶いました。



はじめての…グランドゴルフ

甘酒で温まって



ねらって
いけよ~



具たくさんアツアツのトン汁



輪投げの的はペットボトル



熱かん計上昇中



ココです→



お茶やジュースも無料提供

クライマックスは大抽選会。ギフト券・お米・石鹼・入浴剤 あれこれ、当選した方に手渡されます。末等にも掛からなかった方へは参加賞の「保湿ティッシュ」。それぞれが帰路についてほどなく、空からポツリ… ポツリ、ポツッ、ポツポツポツ。「あや〜、よかったね」

赤れんが 過去から今、そして40期へ

昭和53年(1978年)10月、ブラウンハイム自治会が発足。新築の住宅に皆が移り住み3か月になろうという頃でした。赤れんが第1号には、自治会設立報告・会長の挨拶や会への期待、会計報告の他、防犯 / 青少年 / 保険衛生 / 文化 の各部からのお知らせ、それから 並木第2小学校(現・並木中央小学校) 建設工事開始の記事もあります。印刷業者に発注したのでしょうか、立派な体裁の会報でした。

第2号は、なんと手書き！昭和の学級新聞のような、ほっこりと暖か味のある紙面です。手書きの赤れんがは3期ほど続き、活字の赤れんがへ。

モノクロが普通の時代。縦書き・横書き、年によって変化はあるものの、一色刷りの紙面は長〜い年月続きます。

平成21年(2009年)、写真をカラーで嵌め込み、少しずつ色彩が見られるように…平成23年(2011年)からは、今に繋がる、いろとりどりの構成が定着していきます。

今期初め、「赤れんが」の発行にあたり、歴代の赤れんがを探ってみました。

パソコンの普及に伴い、近年急速に紙面のつくりがグレードアップしているように感じました。

このまま進めば将来は、「赤れんが創るの大変そう」とささやかれ、広報部員のなり手がいなくなってしまう！… と思いきや、39期の赤れんがはスキルの無さから自然に

グレードダウン ↓ 来期の広報部の方々は、気が楽になられたかも！

赤れんがのバックナンバーは、ブラウンハイムのホームページで見ることが出来ます。

トップページ→自治会→赤れんがへお進みください。

お子さまのご誕生や成人式など、我が家の記念の号が見つかるかもしれません。

1月9日 成人式を迎えられた方々

単 暁宇 さん 中村 駿 さん
臺野 零生 さん 滝澤 芽衣 さん

おめでとうございます
それぞれの目指す未来へ 歩んでいけますように